

令和2年度 自己評価・施設関係者評価表

幼保連携型認定こども園 若宮こども園

1. 本園の教育・保育目標

丈夫な体・豊かな心

- ☆ 自然の中で生き生きと、目を輝かせて遊び、健康な体づくりと良好な友だち関係を築く。
- ☆ 暖かく家庭的な雰囲気の中で教育・保育し、情緒の安定を図ると共に一人ひとりの個性や意欲を伸ばす。

2. 本年度に取り組む重点事項

- ☆ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、指導計画を作成し教育・保育にあたる。
- ☆ 各クラスの保育環境を整えていく。
- ☆ 子どもが主体的な教育・保育につながるようにしていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み内容

	評価項目	自己評価	施設関係者評価
1	若宮こども園全体の雰囲気は明るく活気がある	A	A
2	若宮こども園の教育活動について共感できる	B	B
3	若宮こども園の教育・保育目標を理解し、保護者・来園者に分かりやすく説明できるか	B	B
4	若宮こども園では、特色のある教育活動を行い、その成果を上げているか	B	B
5	子育て支援事業は、充実している	A	A
6	遊具、玩具、絵本等が整備されている	B	B
7	園内や園庭の清掃などの環境整備が行き届いている	A	A
8	園児は楽しく園生活を送っている	B	A
9	園児は、落ち着いて生活している	A	A

10	園児は、行事に生き生きと取り組んでいる	A	A
11	保育教諭は、地域の方に対して社会人として常識ある言動で接している	A	A
12	こども園と地域との連携が取れている	B	A
13	子どもたちが安全に生活できるよう、安全・安心・防災・防犯に対する取り組みを十分に行っている	B	B

★評価につきましては、A・B・Cです。

A・・・達成されている

B・・・取り組んでいるがまだ不十分

C・・・全くできていない

4. 総合的なコメント

【自治会長】教育・保育目標は地域の自然環境に沿った内容となっており、成長期の子どもに必要な要素を十分取り入れられていて大変良いと思う。立地条件として周囲に田畑が多く残っている事から、四季折々の変化が子どもたちに豊かな感性を与えられる点も良いこと。

【保護者会会長】保護者が気になるのは、“子どもは、どのようにして日中園で過ごしているのか？”安心して子どもを預けることが出来る取り組みの1つとして、保育の中身が見える化し、発信していく必要があると思う。保育の中（園）での取り組み内容を保護者へ伝える事により、保護者支援や家庭との連携等にも繋がっていくと思う。園側の思いを主張することも時には必要ではあるが、保護者や子どもに寄り添う事も忘れず取り組んで頂きたい。

【園長】職員の自己評価では、園の教育・保育要領などが十分に理解できていない職員もいたので、来年度は研修会のやり方を見直していきたい。保護者支援も今年度は新型コロナウイルスの関係で、行事を変更したりする事も多々あったので、今以上に保護者の気持ちに寄り添うようにしていきたい。園の様子なども新型コロナウイルス感染の関係で保護者の方が園内に入れていないので、保護者の皆様が安心して預けられるように、行事の時と同じように園の様子が分かるように、週末の“1週間の活動内容”を文章だけでなく、月1～2回ぐらいはクラスの活動の様子などを写真でも送信していきたい。

【施設関係者】 ・自治会長 ・保護者会会長